

いじめの訴えを聴くシート

いじめを受けた子どもは、いじめた相手に対する怒りや恐怖、不安だけでなく、自分が悪いからこうなったと思ったり、屈辱感や自己否定的感情、親に申し訳ない思いなどに苦しめられています。まずは、いったいどのような出来事があったのか、そのときどんな思いでいたのかを丁寧に、丁寧に聴き、わかってあげることが大切です。シートを活用して、事実を丹念に聴き取り、その子が、そのときに感じたことや思ったことを、できるだけ等身大に理解していきましょう。

いじめの訴えを聴くためのシート（書き方ガイド）

1 枚目

ひとつの場面を 1 枚のシートに記入します

【 年 組 番氏名 _____ 】 記入 年 月 日

いじめの状況をしっかりつかむシート

いつ: _____ 月 _____ 日 () _____ のとき

どこで: _____

誰 が: 直接関わった人: _____

 周りで見ていた人: _____

 止めようとした人: _____

 その他の人: _____

できごとのあらまし:

どのような場面で、どのようなことが起きたのか、簡潔に書きます。

具体的な状況図

いじめが起きた場面を図示します。どこに誰がいたのか、どのような順番でどのような動きがあったのかなど、記号や矢印なども駆使して作図します。

2 枚目以降

状況説明

番号	相手(言ったこと・したこと)	自分(言ったこと・したこと)	自分が感じたこと・思ったこと
1	いじめた人や周囲にいた人が、いじめを受けた本人に対して言ったことやしたことを書きます。言ったことは、逐語的に書きます。	それに対して自分が相手に対して言ったことやしたことを書きます。言ったことは、逐語的に書きます。	相手から言われたりされたりしたとき、また、自分が言ったときやしたときに、どんな気持ちや思いが生じたか書きます。
2			
3			
4			
5			
6			
7	、 は、番号 1、2、3、... と交互に改行して書いていきます。 は、 、 でのそれぞれの感情や思いを書きます。		

いじめの訴えを聴くためのシート（記入例）

1 枚目

【高1年D組3番氏名 W太郎】

記入 ×年 月 日

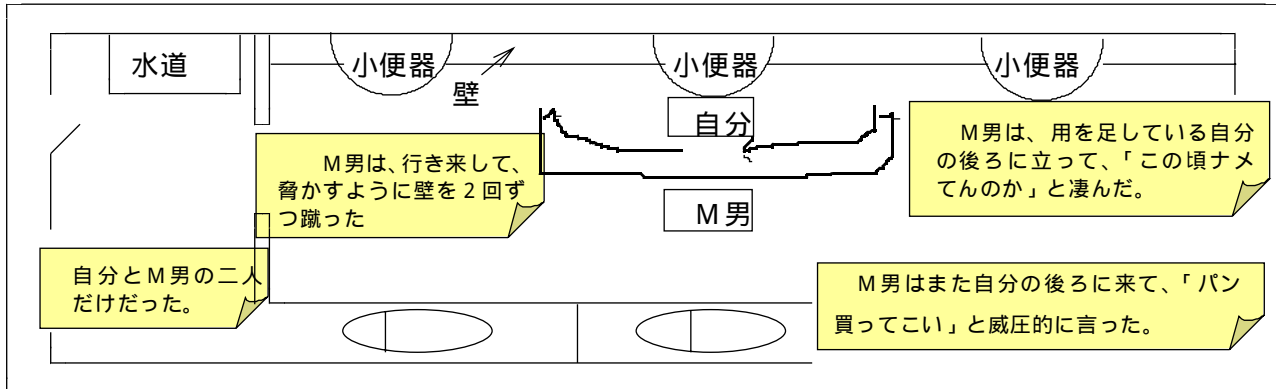
いじめの状況をしっかりつかむシート

いつ： 月 日(金)3校時が始まる直前 のとき
 どこで： 2階東トイレ
 誰が：直接叫びた人： M男
 周りで見ていた人：
 止めようとした人：
 その他の人：

できごとのあらまし：

小便をしていると、M男がいきなり背後に来て、脅した。
 文句と壁を蹴って脅かし、「パンを買ってこい」と言っ
 た。

具体的な状況図



2 枚目以降

状況説明

番号	相手(言ったこと・したこと)	自分(言ったこと・したこと)	自分が感じたこと
1	M男が、小便をしている自分の背後に立った。		何かされるかと思って、恐かった。
2		目を合わせないようにじっと前を向いていた。	
3	で「何で昨日パシリに行かなかった。この頃ナメてんのかオマエ」と言った。		威圧していると思った。
4		黙っていた。	何も言えなかった。
5	に移動して、壁を2回、足でけっこう強く蹴った。		足を蹴られるかもしれないと思った。用は終わったが、そのままの方がいいと思った。
6		そのまま動かないでいた。	
7	に移動して、同じように壁を2回蹴った。「ザケンなよ」とも言った。		どうしようかと思った。恐かった。

いじめを受けた子どもの話を、ひとつひとつ確認しながら丁寧に聞き、事実と子どもの気持ちをしっかりと理解することに役立つためのシートです。教師が聴きながらこのシートに記入したり、最初に子どもに書いてもらい、それをひとつひとつ確認していったりするとよいでしょう。その子の状況に応じて活用しましょう。